

# 「新型コロナウイルス」の影響に関する アンケート調査（4回目）集計結果

令和3年6月3日



酒田商工会議所

*The Sakata Chamber of Commerce and Industry*



酒田市

Sakata City WebSite



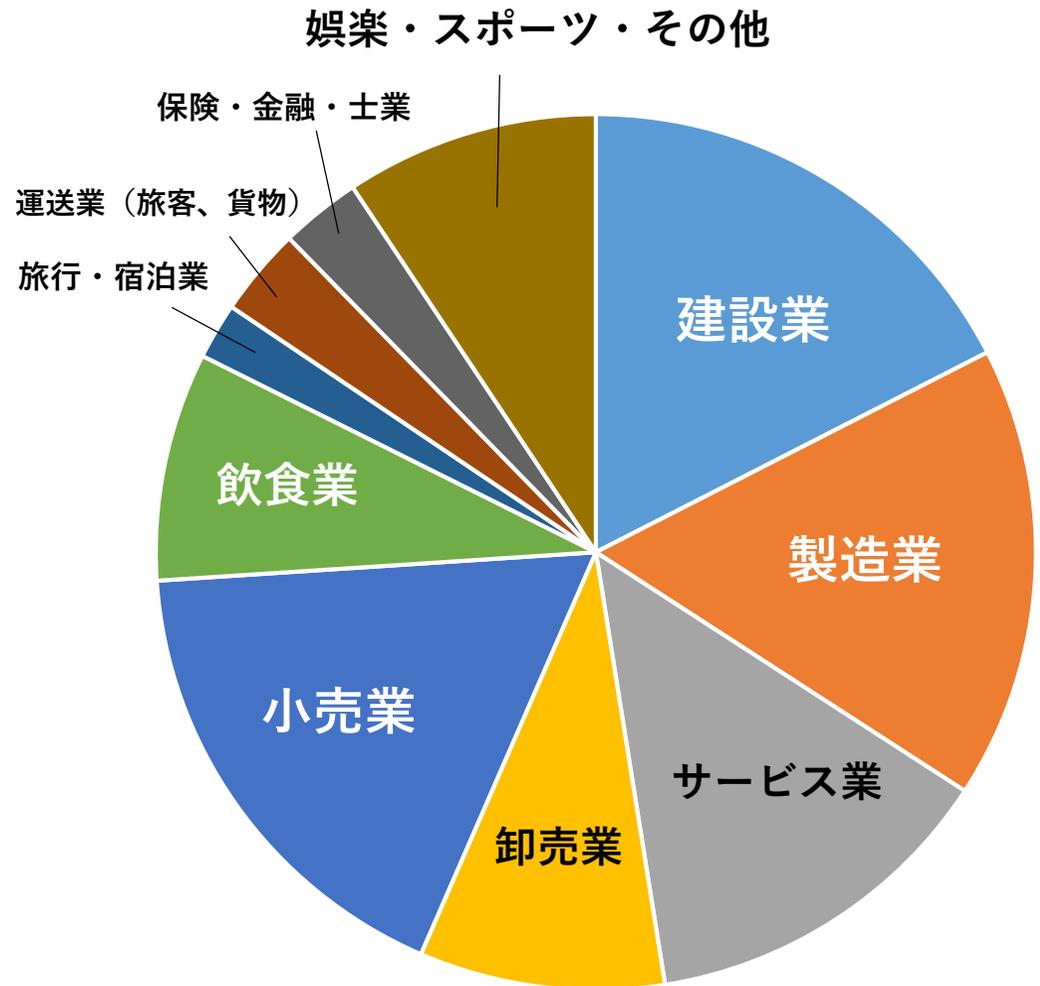
酒田ふれあい商工会

Sakata Fureai Society of Commerce and Industry

- 調査期間 令和3年3月17日～令和3年3月29日
- 調査対象
  - ①酒田商工会議所 会員事業所 1,854社
  - ②酒田ふれあい商工会 会員事業所 361社
  - ③酒田市商工港湾課 市内事業所  
(①②重複企業除く市メールマガジン登録事業所35社+10商店街)
- 調査項目 新型コロナウイルスに関する影響や経営上の対策、必要な支援等
- 調査方法 調査対象事業所へ調査票を郵送またはFAX、メールにて送付
- 回答数 521社

## 2. 回答企業属性

業種	回答数	構成比
建設業	89	17.1%
製造業	91	17.5%
サービス業	62	11.9%
卸売業	46	8.8%
小売業	98	18.8%
飲食業	49	9.4%
旅行・宿泊業	13	2.5%
運送業（旅客、貨物）	16	3.1%
保険・金融・土業	23	4.4%
娯楽・スポーツ、その他	34	6.5%
<b>計</b>	<b>521</b>	<b>100.0%</b>

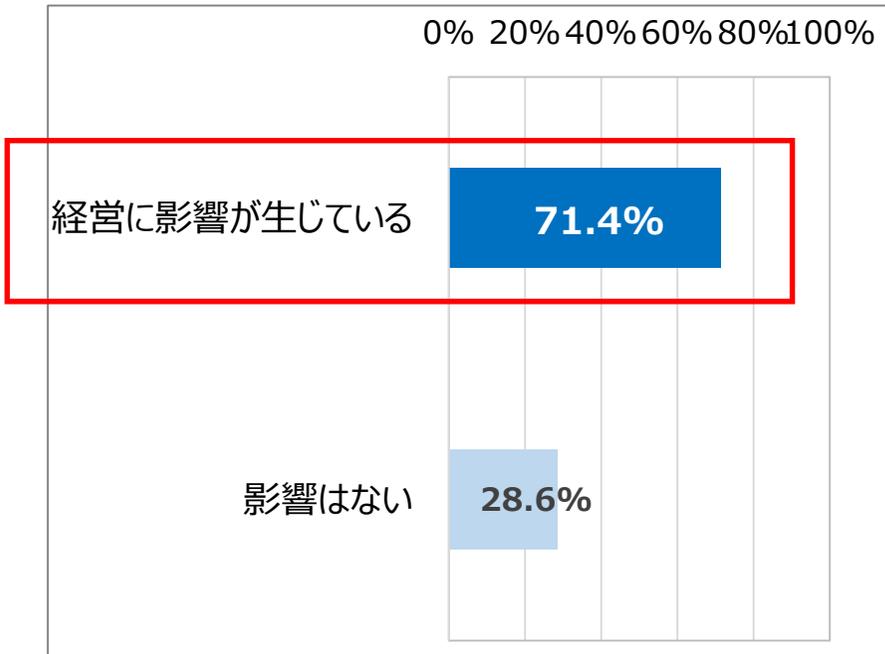


### 3. 集計結果 (1) 経営への影響について

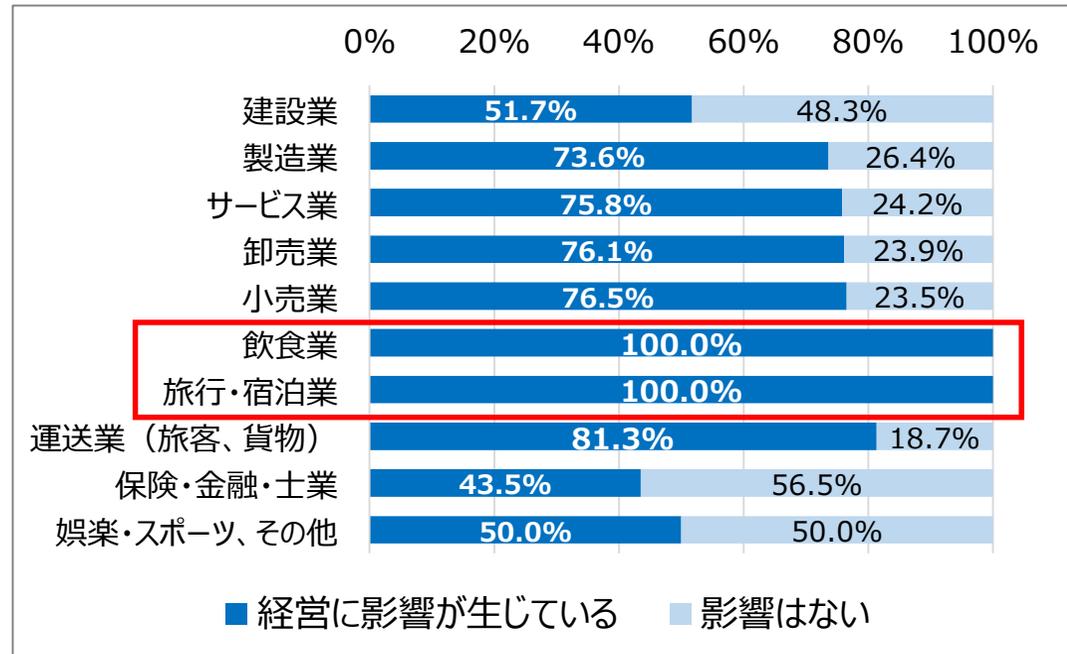
回答企業全体の71.4%が「影響が生じている」と回答。【前回73.5%】

「影響が生じている」への回答が、「娯楽・スポーツ、その他業」では前回72.1%⇒今回50.0%に大きく改善し、「製造業」では前回82.1%⇒今回73.6%と改善したものの、「飲食業(前回97.9%)」、「旅行・宿泊業(前回92.9%)」は100%の事業者が「影響が生じている」との回答となり、年末年始の繁忙期が新型コロナで失われたことによる厳しさが顕著に回答結果に表れた。

【全業種】



【業種別】



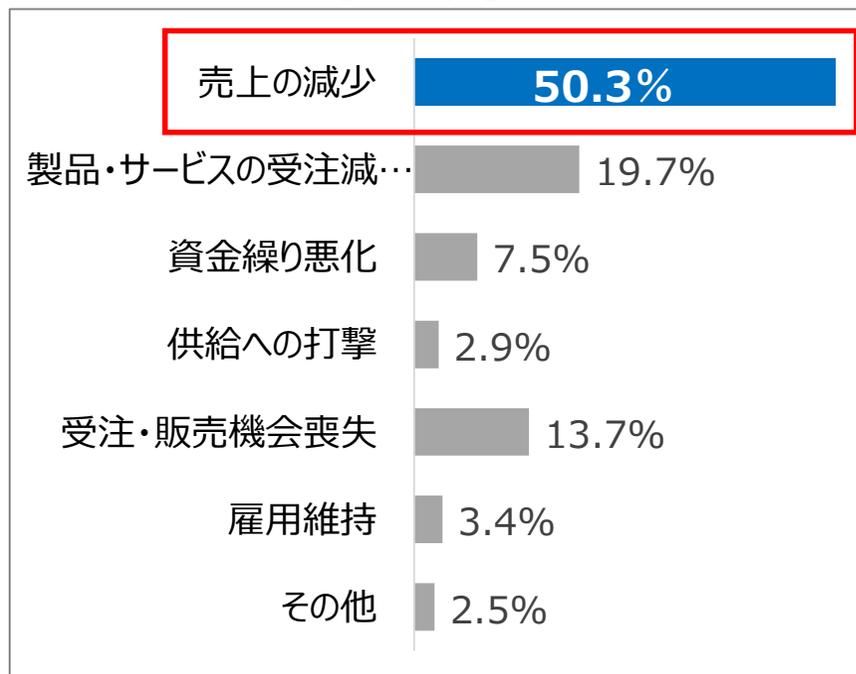
### 3. 集計結果 (2) 具体的な影響について (※複数回答可)

回答企業全体の50.3%が「売上の減少」と回答。【前回48.7%より1.6ポイント増】

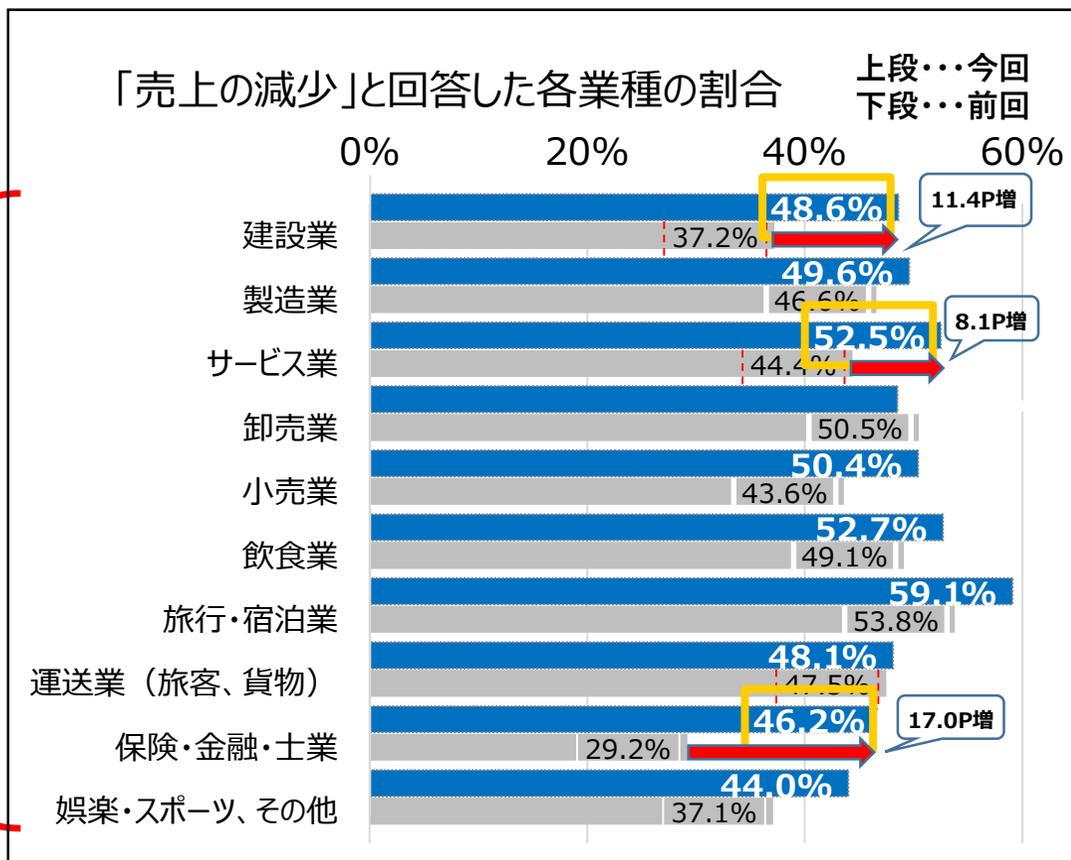
コロナ禍が長期化していることにより、ほぼ全ての業種で売上減少の影響が大きくなっている。

(参考：建設業11.4ポイント増、サービス業8.1ポイント増、保険・金融・土業17.0ポイント増)

#### 【全業種】



#### 「売上の減少」と回答した各業種の割合

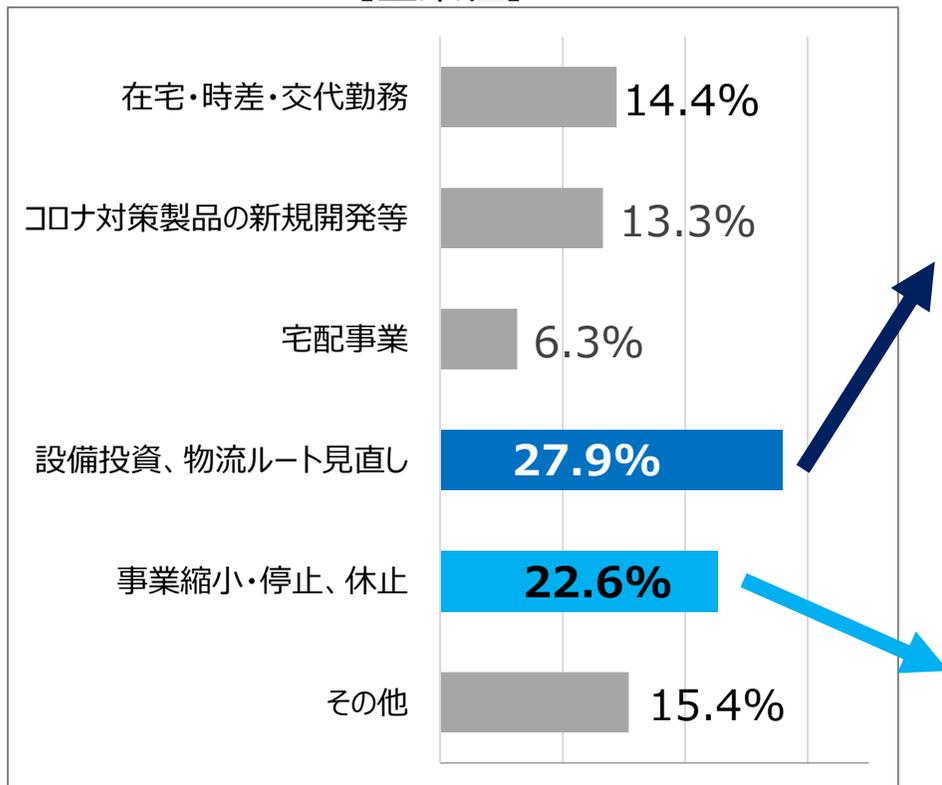


### 3. 集計結果 (3) 経営上の対策について (※複数回答可)

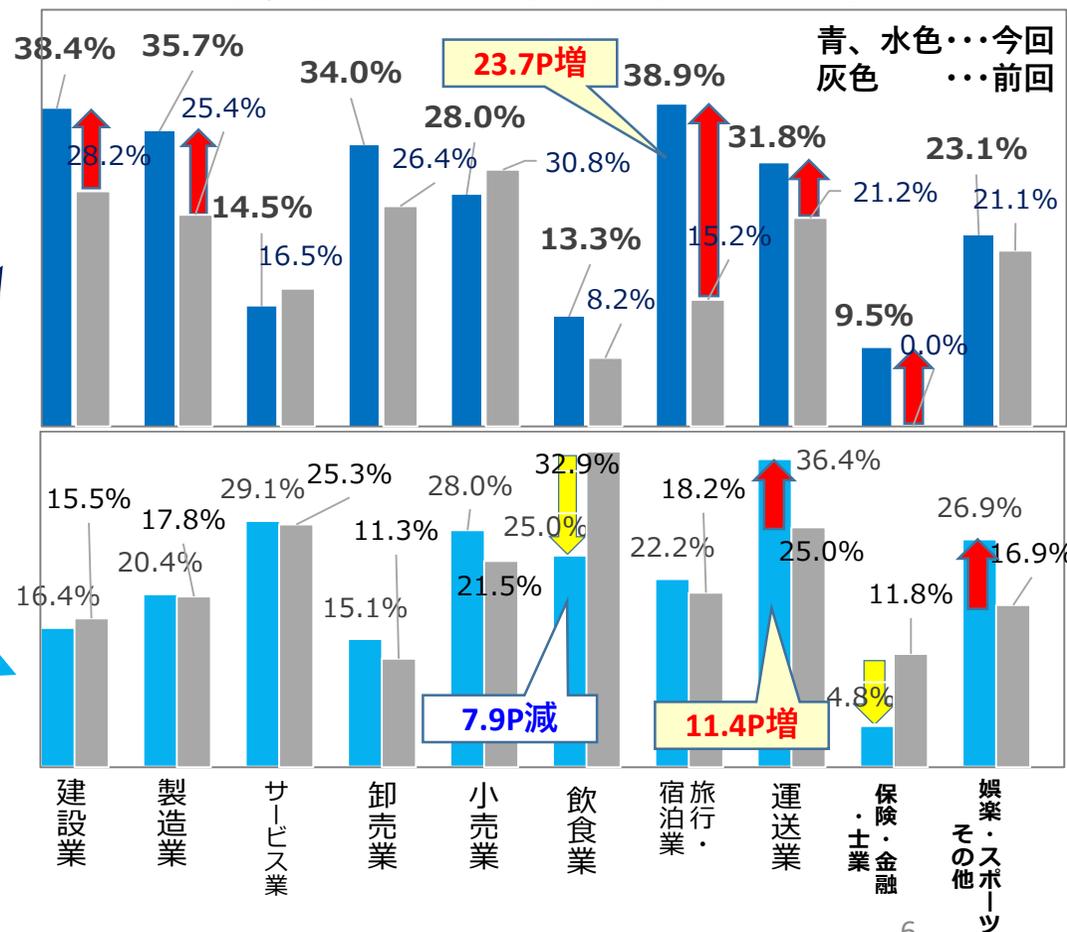
「設備投資計画・仕入れ・物流ルートの見直し」が前回22.5 %⇒今回27.9%と最も多くの回答を集め、ほぼ全ての業種で増加した。

「事業縮小・停止、休止」は前回20.1 %⇒今回22.6%に増加。業種別では「飲食業」、「保険・金融・土業」が改善したが、「娯楽・スポーツ・その他」が10.0ポイント悪化した。

【全業種】



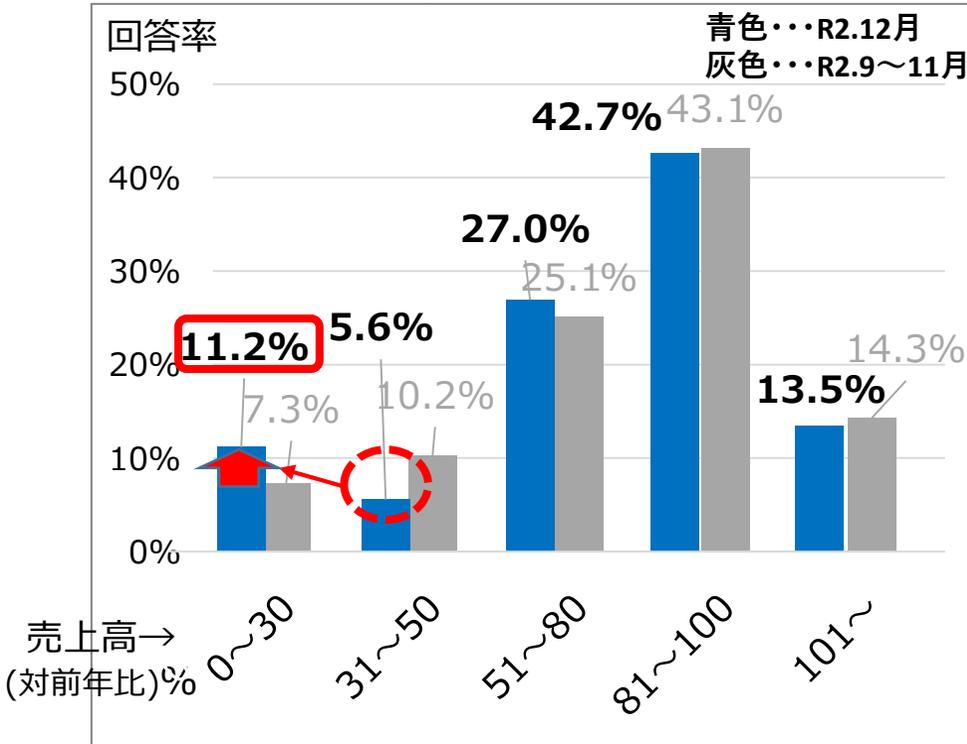
【業種別の回答割合】※複数回答可



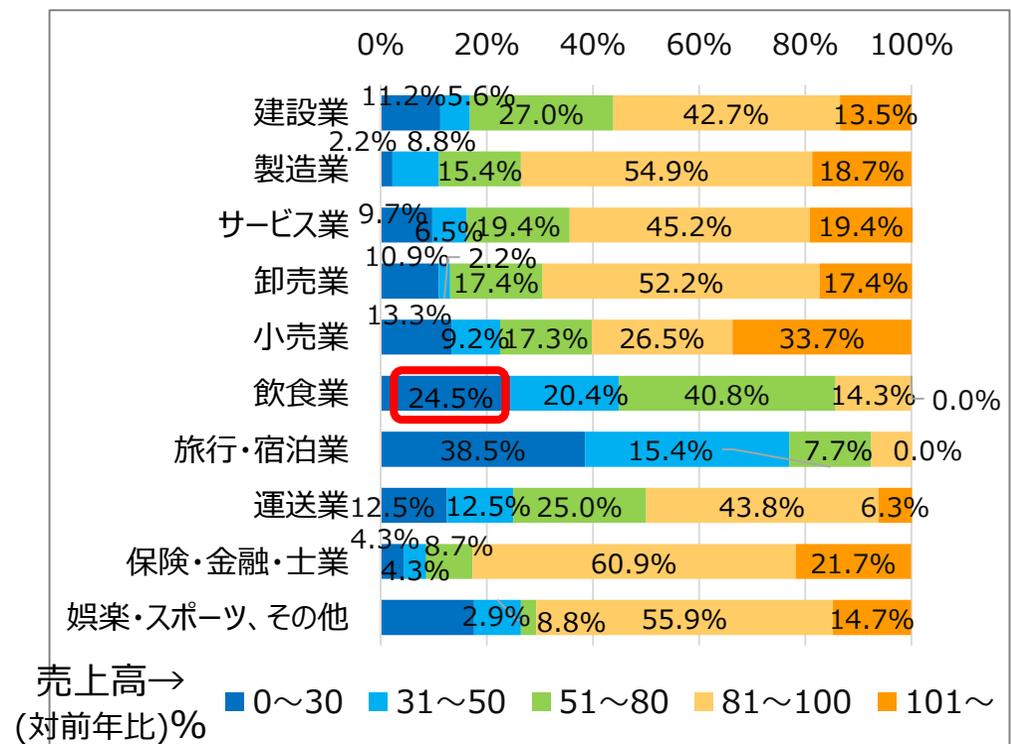
### 3. 集計結果 (4) 令和2年12月の売上高について

「令和2年9～11月分の売上高」と比較して、対前年比「0～30%」と最も厳しい回答が3.9ポイント増加した。  
 業種別で見ると、「飲食店」が前回10.9%⇒今回24.5%と大幅に悪化。12月初旬の山容病院のクラスター発生により本市の警戒レベルが引き上げられ、人出や行事が減少したことが原因と推察される。半面、「製造業」「サービス業」「運送業」の数値は改善されており、業種によって新型コロナの影響が徐々に薄くなってきていると思われる。

【全業種】



【業種別】

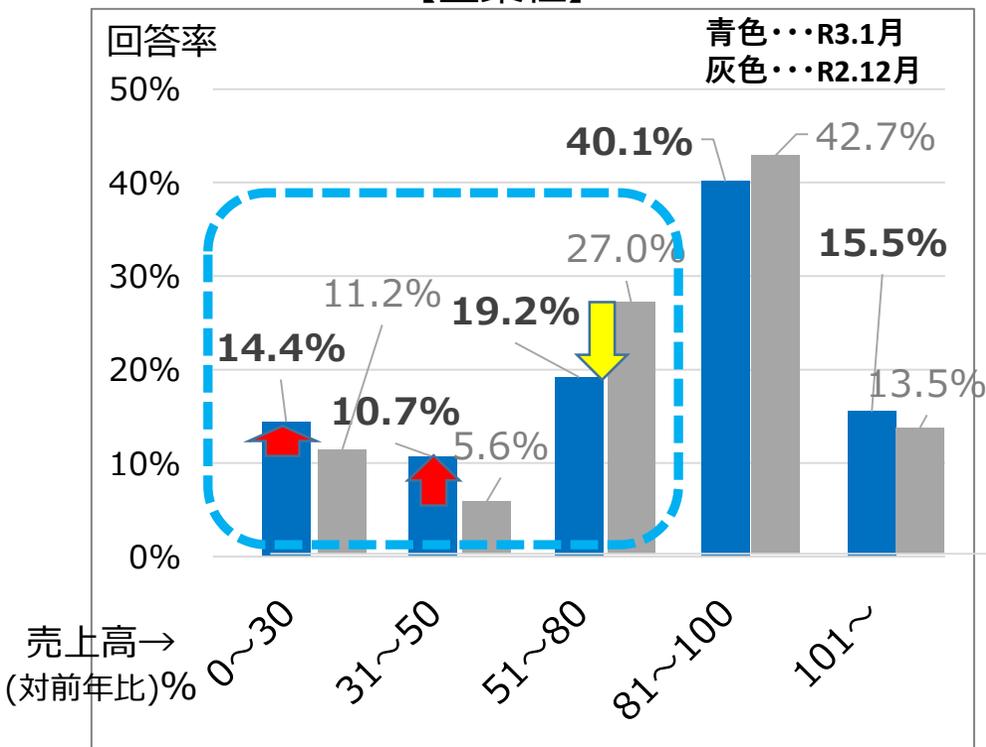


### 3. 集計結果 (5) 令和3年1月の売上高について

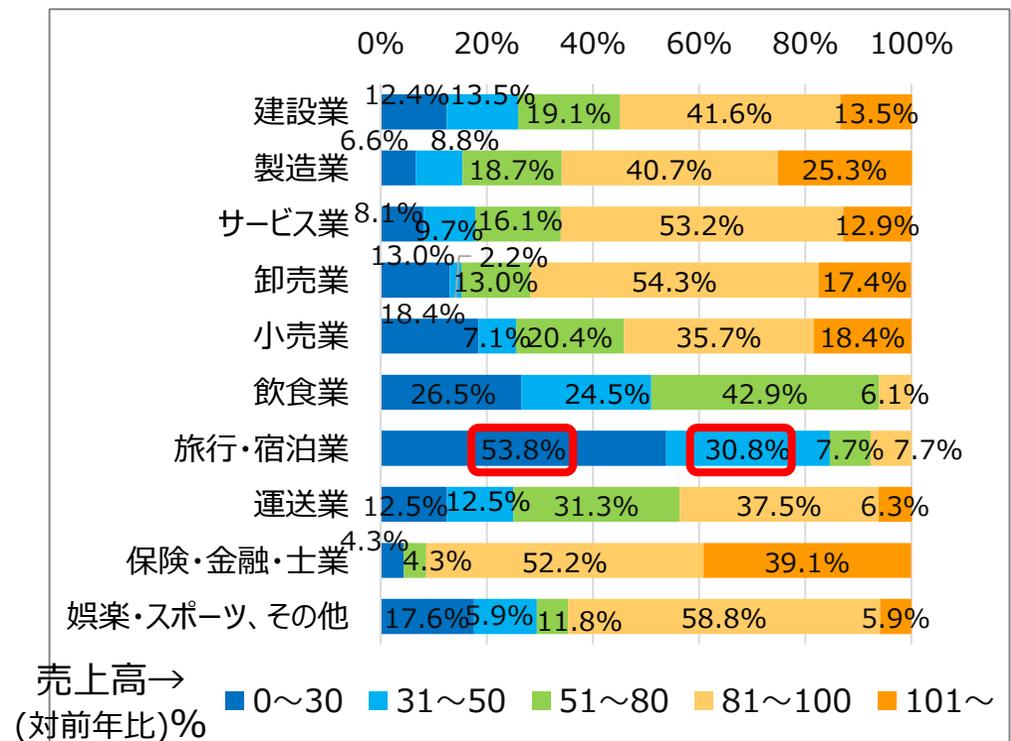
「令和2年12月分の売上高（前ページ参照）」と比較すると、対前年比の売上が「0～30%」「31～50%」との深刻な回答が増加。「保険・金融・土業」を除く業種で全体的に減少となり、同業種内でも明暗分かれた様子。

原因としては、「旅行・宿泊業」の業績悪化が顕著に出たことによる。年末年始の帰省客の減少、行事の自粛ムード継続等による利用客減少が大きく響いたものと推察される。

【全業種】



【業種別】



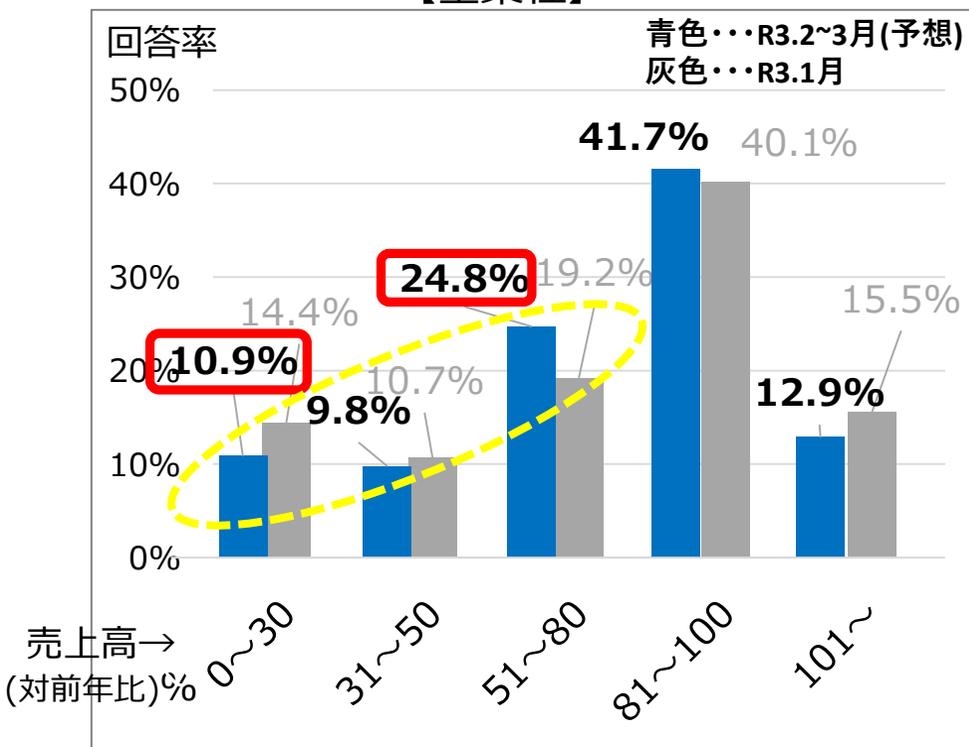
### 3. 集計結果 (6) 令和3年2～3月の売上予想について

全体的には、前年対比「0～30%」との厳しい回答が3.5ポイント減少し、「51～80%」が5.6ポイント増加。

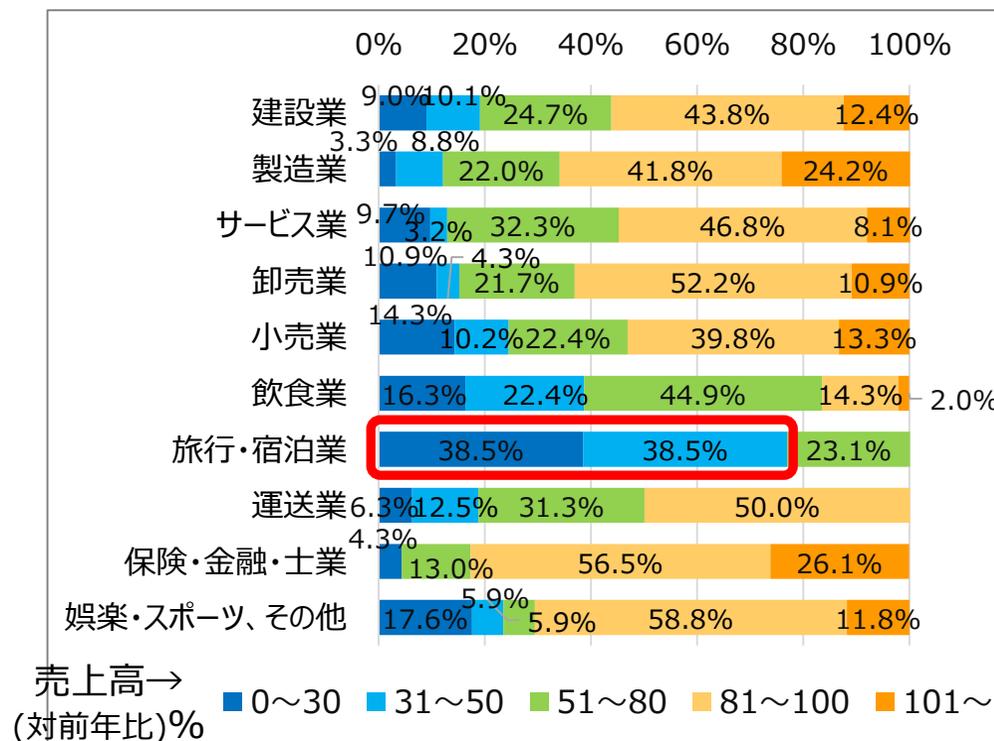
「令和3年1月分の売上高（前ページ参照）」と比較して緩やかに改善する予想。

首都圏の緊急事態宣言等対策が行われることにより新型コロナの蔓延ペースが抑えられる期待もあるものの、本市の「旅行・宿泊業」の見通しは大変厳しい状況が続くとの予想となった。

【全業種】



【業種別】

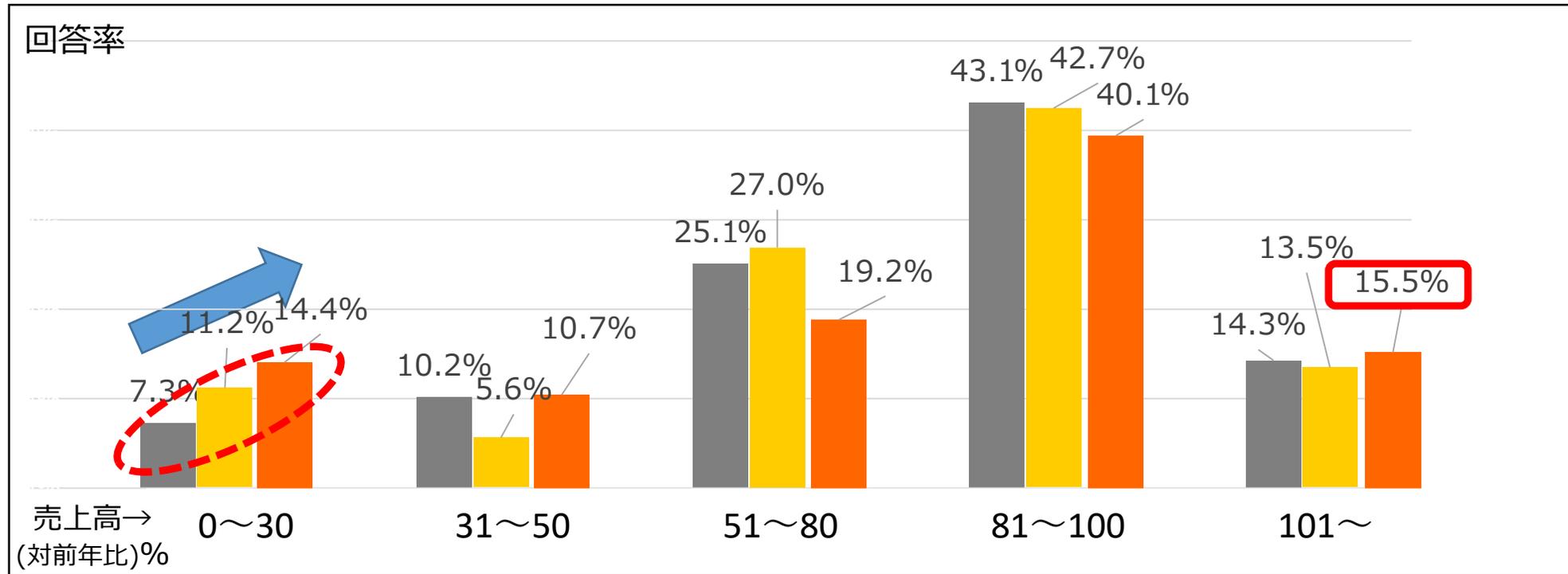


### 3. 集計結果 (7) 売上高比較について

令和3年2月までの売上高推移を比較すると、下記グラフのとおり、「0～30%」、「31～50%」と大きく減少した事業者が増加した一方、「101%～」との回答も微増しており、事業者間でのばらつきが大きい結果となった。

【全業種】

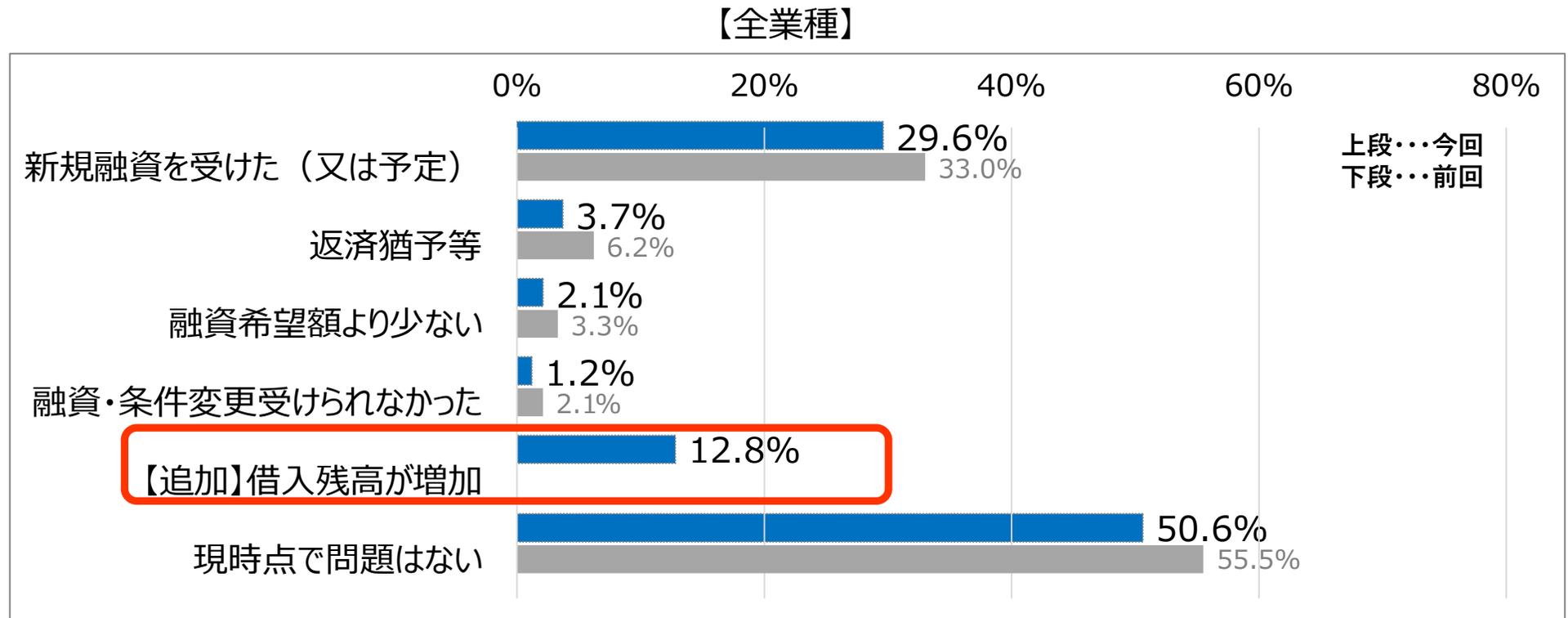
- ……令和2年9～11月 【前回】
- ……令和2年12月
- ……令和3年1月



### 3. 集計結果 (8) 資金繰りについて (※複数回答可)

前回調査と同様、「現時点で問題はない」が過半数を超え、その他の項目についても大きな変化は見られなかったが、新規融資を受けた事業者は依然として約3割を占めており、新規項目の「借入残高が増加」の回答も1割強見られた。

「新型コロナウイルス感染症の拡大・終息の見通しが立たず、現時点において大きな問題はないが先行きが不透明で不安」等のコメントが多く見受けられ、事業者が強いストレスを感じていることがわかった。



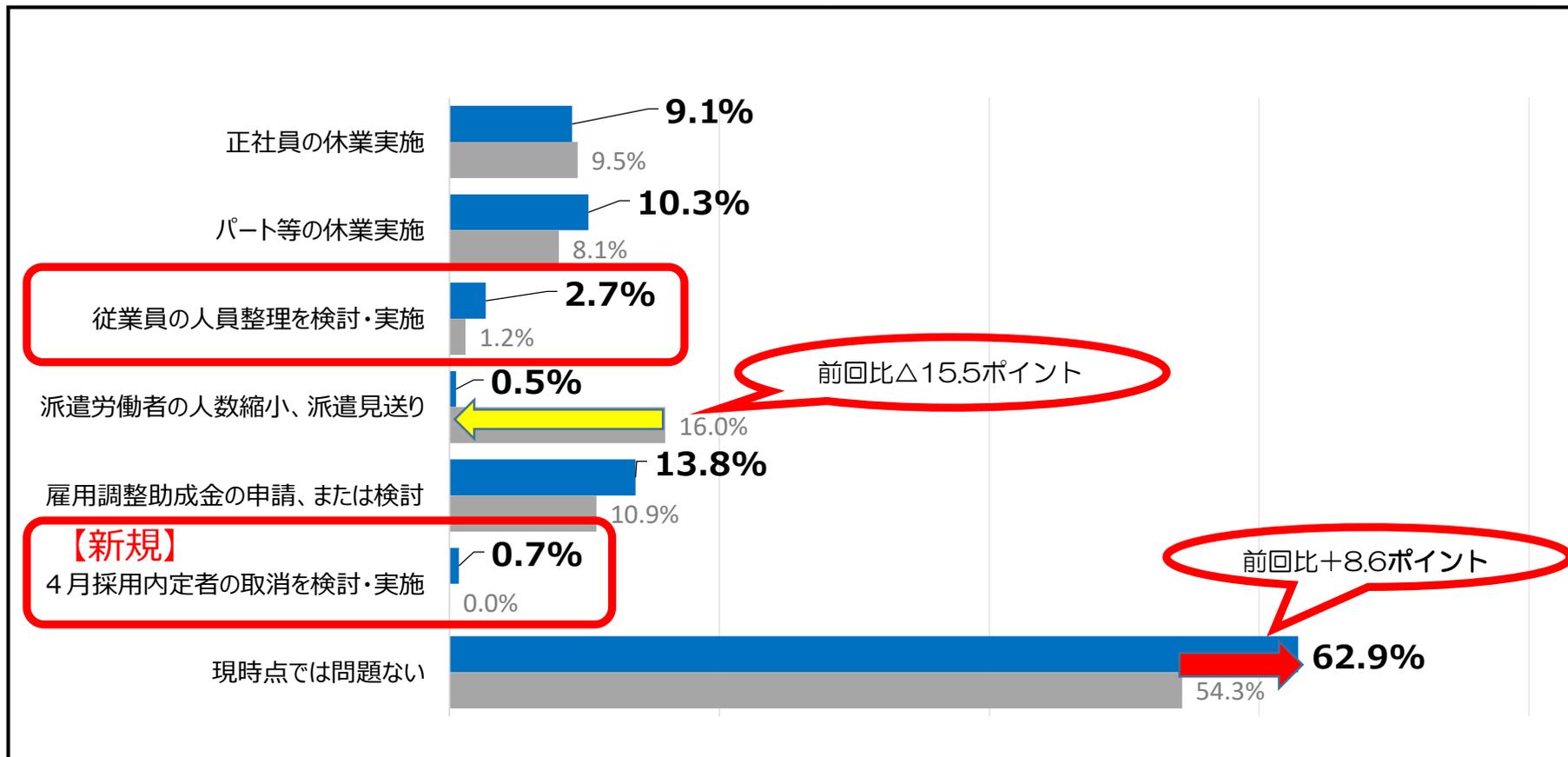
### 3. 集計結果 (9) 雇用に関して (※複数回答可)

雇用に関しては、「現時点では問題はない」との回答が前回54.3%⇒今回62.9%と8.6ポイント改善。また、「派遣労働者の人数縮小、派遣見送り」が前回16.0%⇒今回0.5%と大幅に減少。

一方、前回ほとんど該当がなかった「**従業員の人員整理を検討・実施**」が微増した上、新設の「**4月採用内定者の取り消しを検討・実施**」の回答が4社から得られており、雇用維持が相当厳しくなっている企業が増加している。

【全業種】

上段・・・今回  
下段・・・前回



### 3. 集計結果 (10) 必要としている支援策について (※複数回答可)

前回まで全体で最も多かった「市独自の経済対策」が前回23.4%⇒今回14.3%と大きく減少した分、「返済猶予、利子の減免」や「税の猶予・減免」、「商品券等消費活動活性化策」を求める回答が増加。

また、新型コロナの収束が見えない中、今後の納税、据置したコロナ関連融資の返済開始による資金不足の懸念より、「現金給付」を求める声も依然として多く、全体の19%程度を占めた。

その他の意見として、今回も経済対策としてPayPay30%還元キャンペーンを支持するコメントが散見された。

